

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
EU41C406		病気の子ども理解と支援(Psychological and Health Care Needs of Sick Children)				高度専門科目												
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択		2	1	教育学研究科	後期		氏名 古長治基											
							E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp 内線 6147											
授業の概要	さまざまな病気のもつ子どもの教育、病弱教育における子どもの教育、アセスメントについて理解し、そのような病気をもつ子どもの支援方法、教育上の配慮について学ぶ。本授業において扱われるテーマは、病弱領域における教育的枠組み、医療的ケア、心理的発達における慢性疾患の影響、情緒的問題、健康障害や身体疾患、精神疾患、自殺の問題、子どもや周囲の環境のアセスメントや病気に関するコミュニケーションの問題などを含んでいる。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	病気の子ども代表的な身体障害、健康障害、精神疾患の概要を説明することができる。								○									
目標2	自身の持っている知識を子どもの理解に応用することができる。								○	○	○	○						
目標3	病気の子どもに対するアセスメントとアセスメントを基にした教育的配慮について説明することができる。								○	○	○	○						
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 病気の子どもと出会う																		
2 医療の必要な子どもの教育																		
3 病弱領域における教育的枠組み																		
4 医療的ケア																		
5 心理的発達における慢性疾患の影響																		
6 情緒的な問題の理解と支援																		
7 健康障害、身体疾患 - 疾患の特徴の概要																		
8 健康障害、身体疾患 - 支援における観点の概要																		
9 精神疾患 - 心身症、行動障害の概要																		
10 精神疾患 - 精神病的障害の概要																		
11 精神疾患における自殺の問題																		
12 子どもとその周囲を取り巻く環境のアセスメント																		
13 アセスメントと事例の定式化																		
14 病気の理解に関するコミュニケーション																		
15 家族の理解と支援																		
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		○		各回で、参加者の疑問を元にディスカッションの機会を設ける。プレゼンテーション、レポートにより課題に関連した文献の収集、購読、発表が必要となる。				工夫その他の									
	B:意見の表現・交換		○															
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学習	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。発表について、関連事項の調査や発表準備等が必要となる。(15h)																
	事後学習	関連する資料の調査、講読を行う等(15h)																
教科書	なし。適宜資料を配付する。																	
参考書	特別支援学校学習指導要領、平成29年4月公示、文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説、平成30年3月、文部科学省 クレア パレット(2013) 子どもの問題行動への理解と対応 - 里親のためのフォスタリングチェンジ・ハンドブック、福村出版 ISBN-13 978-4571420542																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法					割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
	レポート					40%	○	○	○									
	小レポート					30%	○	○	○									
	議論への貢献					30%	○	○	○									
注意事項	なし。																	
備考	発表、議論には参加者の積極的な参加を求める。																	
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	公認心理師
実務経験を いかした教 育内容	精神疾患における事例的理解を含める